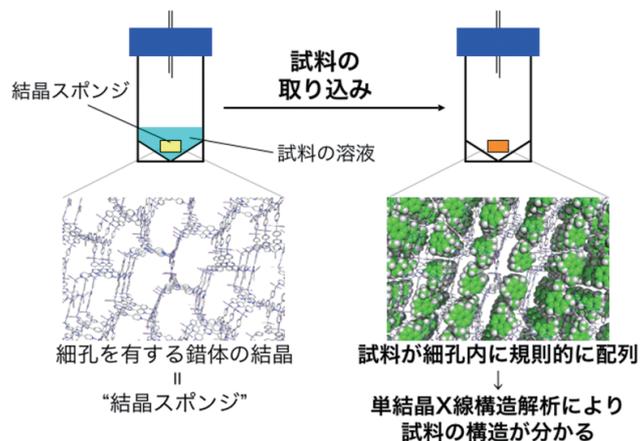


ムを通して結晶スポンジ法を、より広く、より深く昇華させ、いつの日か、ここ分子研が「結晶スポンジ法」のメッカとなれればと思っております。100年の歴史を持つ結晶学の限界を超えて「分子を見た」先に、新しい科学領域の誕生を見ることが出来るか、その問いに挑戦してまいります。皆様のご利用をお待ちしております。どうぞよろしく願いたします。



「試料の結晶化が不要の単結晶X線構造解析」

図1 結晶スポンジ法のご概念図。

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ (<https://www.ims.ac.jp/guide/>) を参照いただき、積極的な応募をお願いしたいと思います。

共同研究の現状について、平成24年度から平成30年度（11月30日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。分子科学研究所は、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業における「分子・物質合成プラットフォーム」の実施機関となっており、通常の協力研究に加え、本事業における協力研究も実施しています。また、下表にある「特別協力研究」とは、共同利用研究の予算ではなく、自前の予算を使用して実施された共同研究です。萌芽的な段階における共同研究や、来所を伴わない共同研究などがこれにあたります。特別協力研究により共同研究の芽を見出すことができれば、是非、積極的に「協力研究」や「課題研究」に応募いただきたいと思います。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (11月30日現在)
課題研究	1	2	1	2	2	1	2
協力研究	123	64	64	62	82	73	44
特別協力研究*	—	167	224	253	318	361	173
協力研究（ナノプラット）	—	51	63	64	80	69	59
分子研研究会	10	10	6	11	6	10	9
若手研究活動支援	1	1	2	1	1	2	1
岡崎コンファレンス	1	1	1	1	3	0	1
計	136	296	361	394	492	516	289

\*平成25年度以降、集計開始。平成30年度分は未集計。

## 分子研研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成30年6月29日～30日	有機デバイスを用いた量子状態制御の新展開	賀川 史敬 (東京大学大学院工学系研究科)	22名
平成30年7月8日～11日	Frontier Bioorganization Forum 2018 (日韓台生命分子科学セミナー)	加藤 晃一 (分子科学研究所/生命創成探究センター)	74名
平成30年10月28日	第1回ヒドリドイオニクス研究会	小林 玄器 (分子科学研究所)	61名
平成30年11月30日～12月1日	生物無機化学シンポジウム2018	荘司 長三 (名古屋大学大学院理学研究科)	53名

## 運営会議よりお知らせ

分子科学研究所では、広く分子科学分野コミュニティに開かれた運営のため、所長の下に、所内11名、所外10名の委員からなる運営会議が設置されています。所外委員は、関連学会（分子科学会、日本化学会、日本物理学会、錯体化学会、日本放射光学会、日本生物物理学会）から推薦を受けた委員による学会等連絡会議において選考されます。所外委員には1期2年の任期で原則2期4年をお願いしており、平成30年度は以下のとおり半数が交代になりました。

運営会議では、研究教育職員の人事および共同利用・共同研究等の研究所を運営する上で重要な事項を審議しております。また、運営会議は、自然科学研究機構・機関長選考委員会（所長選考委員会）からの依頼を受け、次期所長候補者の選考も行います。人事および共同利用・共同研究等の審議のため、運営会議の下に人事選考部会と共同研究専門委員会が置かれております。運営会議委員により構成される人事選考部会（所内および所外各5名の合計10名）で審議・決定された事項は運営会議での決定事項であり、改めて審議する必要がありません。一方、運営会議委員以外も委員となりうる共同研究専門委員会（所内5名、所外6名の合計11名）での審議事項については、従来、運営会議においても全て審議しておりました。しかし、迅速かつ効率的な運用を図るため、共同利用研究の採否はメールによる審議・承認へと平成30年度に変更されました。平成30年度の運営会議長、人事選考部会長、共同研究専門委員長については、所内教授の斎藤（新規）、秋山（新規）、青野（継続）が務めております。また、運営会議所外委員の米田教授には運営会議副議長をお願いしております。

### 平成30年度～平成33年度運営会議 所外委員（新規） \*印は人事選考部会委員（以下同様）

- \*鹿野田一司 東京大学大学院工学系研究科 教授
- 袖岡 幹子 理化学研究所袖岡有機合成化学研究室 主任研究員
- 谷村 吉隆 京都大学大学院理学研究科 教授
- \*中井 浩巳 早稲田大学理工学術院 教授
- 藤井 正明 東京工業大学科学技術創成研究院 教授

### 平成28年度～平成31年度運営会議 所外委員（2期目）

- \*有賀 哲也 京都大学大学院理学研究科 教授・副学長
- 米田 忠弘 東北大学多元物質科学研究所 教授
- 高原 淳 九州大学先端物質科学研究所 教授
- \*西原 寛 東京大学大学院理学系研究科 教授
- \*山口 茂弘 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授

以下は退任された運営会議所外委員の方々です。これまでの多大なご支援、ご協力に感謝いたします。今後ともよろしく願います。

### 平成26年度～平成29年度運営会議 所外委員

- 大西 洋 神戸大学大学院理学研究科 教授
- 鈴木 啓介 東京工業大学大学院理工学研究科 教授
- 高田 彰二 京都大学大学院理学研究科 教授
- \*田原 太平 理化学研究所 主任研究員
- \*森 初果 東京大学物性研究所 教授